

[illegible]

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援マレーネ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月10日		～	令和7年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年3月26日		～	令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士と作業療法士、臨床心理士が協働でプログラムを立案することにより、多角的な専門的支援を実施できる。	専門職が発達検査を行うことで個別の問題点を抽出している。	個々の職員の研鑽によりスキルをアップしていく。
2	作業療法士が個別対応のセラピーを行う。	グループ療育の中で作業療法士がプログラムを立案する部分をさらに集団での指導と個別での指導に分け、個々の課題の解決に向けた対応をしている。	個別での作業療法評価を行うことでより詳しい個々の課題を抽出し、集団活動に繋げるアプローチをしていく。
3	ベテランのスタッフがいる。	今まで経験した中で類似していると思われる利用者に今後の見通しを伝える（そういう場合にはこうなったケースがあるという伝え方）ことや、そんなケースもあった（特別に孤独ではない）と伝えることで寄り添った対応ができていたのではないかと考える。	ベテランスタッフの経験を、経験の浅いスタッフにも伝えていくことで対応の幅を広げていく社内研修も行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢別にグループを分けており送迎も行っていないので他事業所に比べると通所頻度は少ない。		療育のプログラムの充実を図ることはもちろんのこと、保護者にフィードバックしやすい環境ではあるのでおうちや保育園、幼稚園でやって欲しいこと、やってもらえるといいと思えること等直接伝えていき、頻度の少なさをカバーしていきたい。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援マレーネ 公表日 令和 7年 4月 14日

利用児童数 47名 (令和7年3月31日現在) 回収数 27名 (57.4%)

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			27			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18		4	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1			26		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			12		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27					
	29	事業所の支援に満足していますか。	27					